



# クスノハカエデ [ 楠の葉楓 ]

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



**科名** ムクロジ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：やや速い

東南アジアの山林に分布する。国内では、沖縄とその周辺島嶼に分布する唯一の常緑性カエデ。4～5月に花序を立ち上げ小さな黄色い花をつける。葉はクスノキに似るが、なかにはトウカエデのように浅い切れ込みのある葉も混在する。関東以西の暖かい地方での配植がよい。



葉

新葉時



実

## Memo

観葉植物として「メープルツリー」名で流通するが、カナダ国旗のサトウカエデとは種が異なる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					■								
果 実						■							
黄 葉													
施 肥		■											
剪 定		■					■						■

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壌	乾		○	○ 湿
寒 さ	強		○	弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○						

### ポイント

新葉は赤味が差す。また、園芸品種の「恋化粧」は赤や白色の斑が入る。亜熱帯に生育する樹のため、最低気温が5℃を下回る地方では、葉が変色する。北風の当る場所や積雪地での配植は避ける。

### 剪 定

繁茂し鬱蒼（うっそう）としないよう枝抜き剪定がおすすめ。比較的生長が速く、大きく育つので計画に合わせ芯を止める。緑陰、目隠しなど目的に合わせて剪定するとよい。

### 病虫害

ほかのカエデ同様に樹幹に穴をあけるテッポウムシ（カミキリムシの幼虫）とアブラムシに注意する。テッポウムシは幹下に木屑を見つけ次第駆除する。